

開かれた議会、市民により身近な議会 ～意見交換会を実施～

民生文教委員会と袋井市文化協会 (10月28日)

「魅力ある袋井市文化協会の活動維持に関する要望書」が提出され、意見交換を行った。

【活動目的】

地域文化の振興と発展のため、まず一人一人がそれぞれの分野の文化活動を楽しみながら、人と人をつなぐ文化活動を行うことで、愛あふれるまちづくりを目指している。

【課題】

- ◆袋井市文化協会へ加入してもらおう努力はしているが、高齢化により会員が減少している。市民文化祭や自主事業などを行っているが、各種事業の活動維持が困難になってきている。
- ◆市民文化祭をメロープラザで実施しているが、備品のパネルだけでは足りないため、コミュニティセンターより借用している。会員の高齢化が進み、交通事故や怪我などのリスクもあるため、作品展示方法が課題である。



民生文教委員会と袋井市子ども会育成連合会 (11月10日)



活動内容と課題について意見交換を行った。

【活動目的】

時代を担う子どもたちに、異年齢集団での体験を通じて「他人に学ぶ・自ら学ぶ」力を育むための「時間・空間・仲間」を提供すること、そして次世代の子どもたちを育成する「育成者」を養成することを目的としている。

【課題】

- ◆袋井市子ども会育成連合会に入っていないくても、子ども会活動はできるし、地域に根付いた活動もできる。これからの時代に合った活動がどんな形なのかを、いろいろな場でいろいろな意見をもらい、答えを探している。
- ◆袋井市子ども会育成連合会から抜けた子ども会の意見としては、役員をやりたくないという声が多かった。しかし、危険予知講習会が出来る組織は、子ども会だけとなっている。子ども会が消滅すれば、子どもたちの安心・安全に対する意識行動をやめることになる。

運動で「勝ち取ったもの」

子育てサロンの「議員と話そう」に参加し、50年ほど前は保育所がほとんどなく、あっても「1歳半からの保育」「通常16時までの保育」「一人の収入の大半に相当する高い保育料」など大変だった保育環境のことや、市議会への保育料引き下げの請願運動などを思い出した。

これまでに改善されてきた保育環境は、「ポストの数ほど保育所を」「産休明けからの保育を」など声を上げ運動し、「勝ち取ってきたもの」だ。

さらなる改善のため、声を上げ運動し続けてほしい。



思いや願いを、声に運動に

(広報委員：浅田二郎)

2月市議会定例会のお知らせ

場所 市役所5階議場及び各委員会室

時間 午前9時から

日程 2月22日(月) 開会、議案の説明

3月 2日(火) 市政に対する一般質問

3日(水) 市政に対する一般質問

4日(木) 市政に対する一般質問

8日(月) 議案の審査(常任委員会)

9日(火) 議案の審査(常任委員会)

10日(水) 議案の審査(常任委員会)

11日(木) 議案の審査(常任委員会)

22日(月) 委員長報告～採決、閉会

※変更する場合があります

